

赤十字おおやま

NO. 26

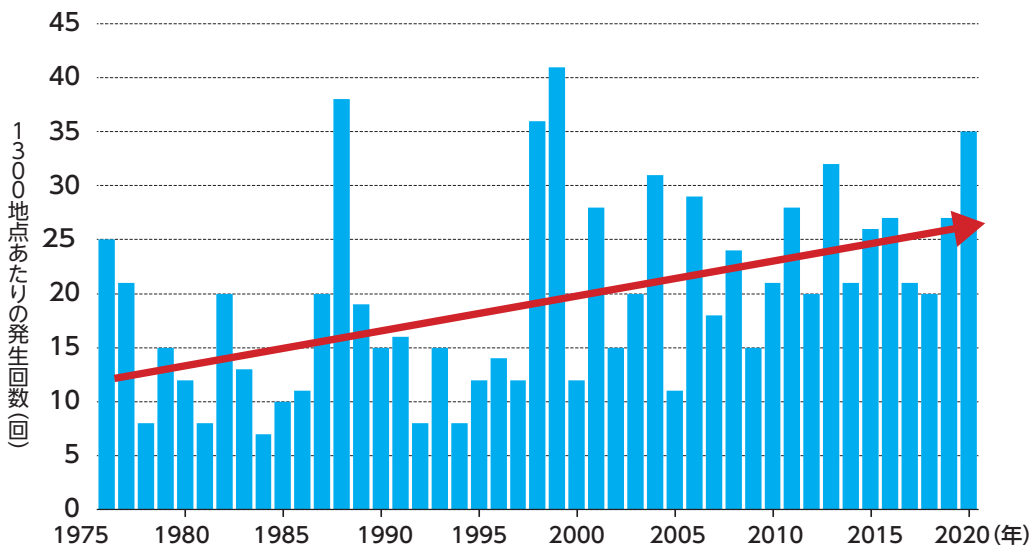
Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大雨からいのちを守る

1時間降水量80mm以上の年間発生回数



猛烈な雨が降る
回数は年々増加
いのちを守るために、
天候の急変に備えよう。

1時間降水量80mm以上とは:

天気予報では「猛烈な雨」と表現される。息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるほどの雨。

大雨からいのちを守るために、早めの対応を!

危険なサインや気象情報を活用し、いのちを守る行動をしよう

毎年6月から10月までは、集中豪雨や台風など、大雨による災害が多く発生しています。

今回は、急な大雨や雷などを引き起こす主な原因である積乱雲や、いのちを守る行動について考えます。

■ 積乱雲による急激な天候変化と災害リスク

積乱雲は、強い上昇気流によって空高く発達した雲です。著しく発達した積乱雲は、急な大雨や雷、竜巻などの激しい気象現象を引き起こし、災害リスクが高まります。積乱雲がもたらす大雨は短時間で狭い範囲に降り、急激に中小河川が増水し、災害が発生することがあります。雷や激しい突風が予測される時は、安全な場所に避難するなど天候の急変に備えましょう。

■ 積乱雲が近づく危険なサインを見逃さない



真っ黒い雲が近づいてきた



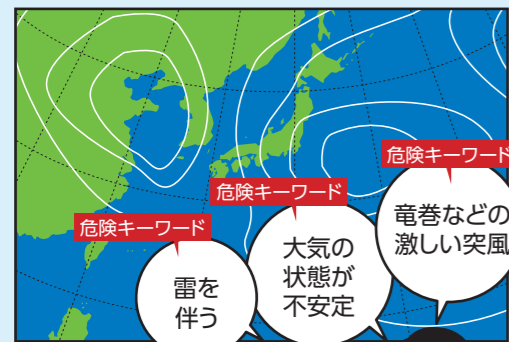
雷の音が聞こえてきた



急に冷たい風が吹いてきた

■ 屋外で行動する場合の気象情報を把握する

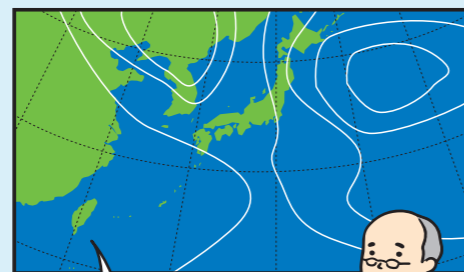
明日の天気予報を確認



明日の天気予報やその解説をテレビなどで確認し、積乱雲が発生しやすい気象状況を把握



当日の天気予報を確認



外出前に最新の気象情報を確認。雷注意報の有無を調べる。

当日の天気予報を確認し、行動時の気象状況をイメージ



外出先で確認



外出先では空の様子に注意し、携帯端末で最新の気象情報を随時確認



■ 大雨からいのちを守る行動

日本では地形的条件から大雨による多くの被害が発生しています。いのちを守るために、どのような被害が起こるのかを理解し、早めに安全な場所へ避難することが大切です。

早めに安全な場所へ避難



大雨情報に注意し、冠水前に早めに避難しましょう。避難場所は事前にハザードマップで確認しておいてください。

声をかけ合いながら避難



周りの人に声をかけながら率先して避難しましょう。その行動が周囲に危険を知らせ、地域全体のいのちを守ることとなります。

避難が危険な場合



外が暗くなっていたり、避難が遅れて道路が冠水したりしている場合、自宅のより高い場所に避難し、一時的に身の安全を確保しましょう。

大雨や水の事故からいのちを守る講習を行っています

地域や企業・学校・団体等からのご要望に応じて指導員を派遣しています。



詳しくはこちらのQRコードから



お問合せ先

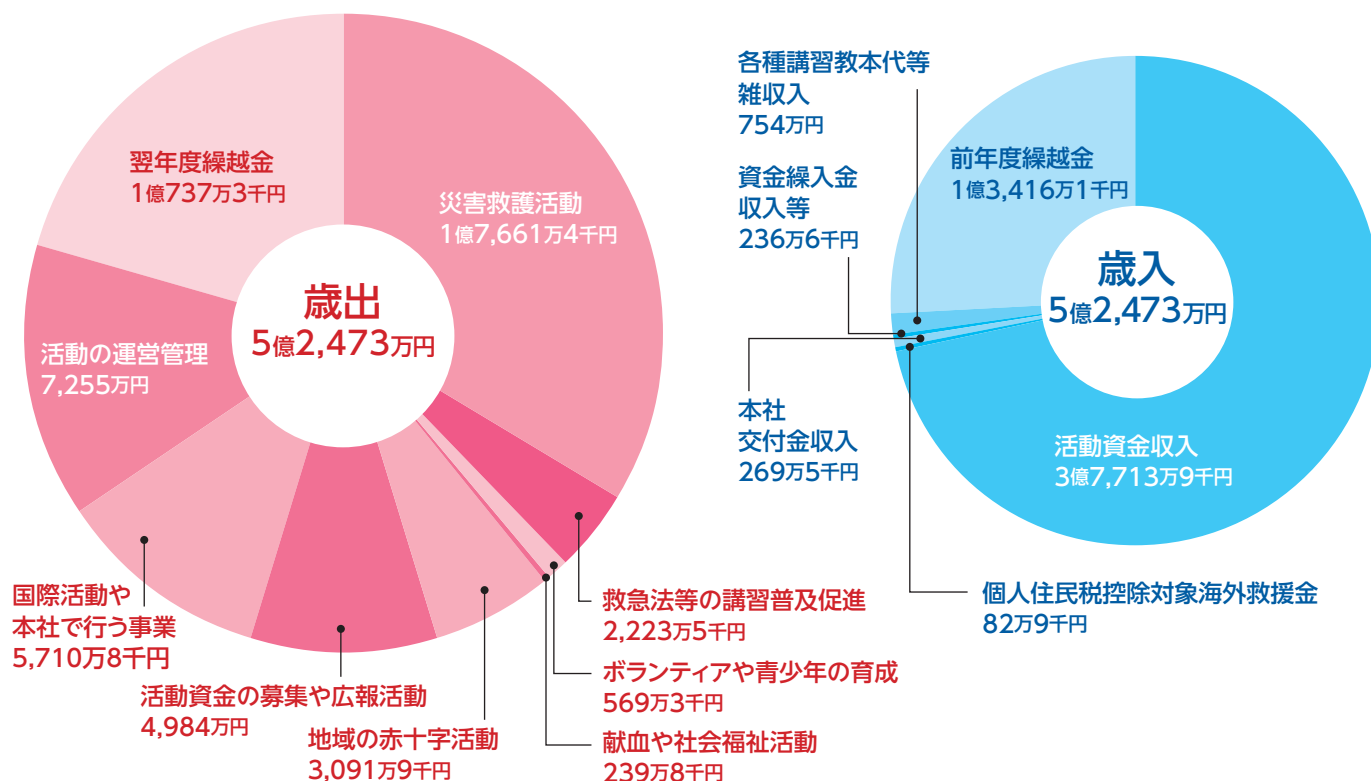
日本赤十字社岡山県支部

TEL086-221-9595

令和5年度決算概要を報告します。

岡山県支部の事業にかかる歳入歳出決算をまとめたものです。

(岡山県支部の決算は代議員会で承認されています。)



令和5年度に実施した主な活動



認知機能の異常を早期発見するためのICTツールを導入



地震が発生した石川県での救護活動



災害対応能力向上のための災害救護用資器材倉庫の改修